

お申し込みから受講までの流れ

① お申し込み

▶ 「申込書」と「会社概要(パンフレット等)」を、ものづくり人材育成センターへ郵送(持参可)してください。

▶ 「申込書」は、ホームページからダウンロードをお願いします。

<https://www.hiwave.or.jp/event/22647>

応募×切/2020年8月31日(月) 必着



厚生労働省の「人材開発支援助成金」をご利用いただけます。
申請は、開講日の1か月前までに行ってください。

●助成申請する上での注意点

オンラインでは、講師/受講生がカメラ・マイクの画像、音声により相互確認できること。
通常の生産活動と区別できる環境を確保(会議室など通常勤務の場所から隔離された環境)。
尚、自宅を受講する場合は、受講時間が就業時間であること。例:在宅勤務(テレワーク)

※詳しくは、広島労働局(☎082-502-7832)へお問い合わせください。

【経営者・上席の方へお願い】

▶ 受講者のスクール終了後の活用計画の事前策定 ※後日、ヒアリングさせていただく場合もあります。

▶ 修了後の自社改善の活動テーマ設定と指示

② 受講決定・受講料の納付

▶ 受講決定通知が届いた方は、同通知に記載する銀行口座へ受講料をお振り込みください。

※振込手数料は申込者にてご負担ください。

③ 受講の際には

▶ 講義には、オンラインに必要な通信機器(インターネット環境、PC、Webカメラ/マイクetc)をご用意ください。

又、筆記用具と電卓もご準備ください。

※通信機器について、詳しくはお問い合わせください。

④ 修了

▶ 全カリキュラムを修了された方は、現場イノベーションスクール修了証を授与します。

▶ 自社の改善活動を推進するリーダーとして、ご活躍いただきます。

※この「現場イノベーションスクール」は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています。

詳しい内容のお問い合わせはこちらへ



追求します 新たな価値創造!!

産振構は皆様のビジネス・パートナー

HIROSHIMA SANSHINKO 公益財団法人 ひろしま産業振興機構

ものづくり人材育成センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3F

☎082-240-7716 ✉h-jinzai@hiwave.or.jp

聞く!褒める!
時代に即した
人材マネジメントか...

改善活動はチーム戦です。
上から目線、責める、叱る...
これまでのマネジメントとは決別して、
やる気やモラルを高める
マネジメントを身につけましょう!

あの熟練さんが
辞めたらどうしよう...

個人に帰属するノウハウ、
増える外国人労働者...
作業標準を整備し、ばらつきやミスを削減
誰でも安全に作業ができる
職場を作りましょう!

あー今月も
求人に応募なししかあ...

深刻化する人手不足に加えて
人件費も高騰、このままでは
企業の存続すら危ぶまれる事態に!
現場のロスを排除して生産性を高めましょう!

世の中の流れで
IoTを活用したいが...

費用対効果がわからない
自社にあった活用方法がわからない
十分に活用するための人材がない
→ QCDの変革で現場力を高める
基礎を学びましょう!

社長!今こそオイゼンです!

~ IoT活用の第一歩です ~

現場改善指導
人材育成プログラム

現場

イノベーションスクール

オンライン版 令和2年度 募集案内

日時 2020年10月7日(水)~12月23日(水)の期間中14日間
講義10日・擬実習4日/別途 2021年3月3日(水)改善報告会あり

受講方法 オンライン受講 (Zoom利用・双方向コミュニケーション)

※ 対象者・受講料につきましては、中面ページの開催概要をご覧ください

応募×切
8月31日(月)

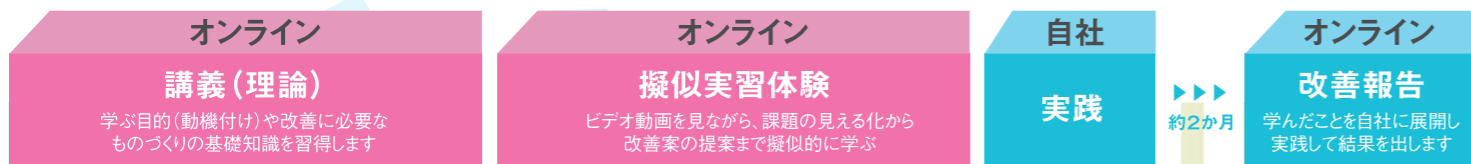
現場イノベーションスクール ってなんだ!?

誰もが安全に働くことができ、困ったときは仕事をシェア、従業員の高いモチベーションが自慢!

そんな会社と一緒に目指しませんか!

現場イノベーションスクールは、「講義」と「実習」で構成するカリキュラムで「学び」自社で「実践」することで、実際に使える「現場改善スキル」が身に付く人材育成プログラムです。

この現場改善スキルを習得することが、将来のIoT活用の基盤になるものと考えています。



人の動作、物の流れ、設備の稼働など、製造現場の問題点が見える化する分析手法から、その問題点を解決するまでの流れを学びます。

4人前後でチームを構成し、実際に稼働している現場の動画を使い、その中にある課題をテーマに取り上げ、講義で学んだことを応用しながら改善策を検討します。

経営層の承認の下、自社の改善活動テーマを設定し、スクールで学んだ改善手法を使い、自社改善に取り組んでいただきます。最終的に改善報告会で報告し、お互いの内容から多くを学びます。

開催概要

【スクール】2020年 10月7日(水)～12月23日(水)の期間中14日間
(2hr/コマ、28コマ)

【改善報告会】2021年 3月3日(水) (2hr/コマ、2コマ)

オンライン受講(双方向コミュニケーション)

注)インターネット環境があり、Zoomによるオンライン会議が可能であることが条件となります。

※本件でのご質問、ご不明な点等ありましたらお気軽にご相談ください。

【Zoom接続の簡単な流れ】

- ①当方から講義前日までにメールで、Zoom招待URLを送信いたします。
- ②講義開始20分前には、招待URLでZoomに入り、「ミーティングに参加」してください。
※受講者には、開講までに接続テストを行います。

【講義時間】

午前 9:30～11:30
午後 13:30～15:30

- 県内に本社または支社、事業所を有して、将来、IT・IoT・AI・ロボット等の導入を検討しているものづくり中小、小規模企業
- デジタル化の前提として、その基礎となる改善手法(分析や問題解決)を修得して、企業内で推進役を担う担当役員、現場責任者、及びチームリーダー

受講料 100,000円 ※税込

定員 12名

カリキュラム

講義	9:30～11:30	13:30～15:30
1日目 10/7	開講式・序論	改善推進リーダーの心得①
2日目 10/8	改善推進リーダーの心得②	ものづくりの基礎概念/競争力
3日目 10/14	ものづくりとIoT	現場の5S
4日目 10/21	コストと生産性①	コストと生産性②
5日目 10/28	プロセス分析①	プロセス分析②
6日目 11/4	IE(人の作業の改善)①	IE(人の作業の改善)②
7日目 11/5	IE(人の作業の改善)③	IE(人の作業の改善)④
8日目 11/11	品質管理のQC手法①	品質管理とQC手法②
9日目 11/18	設備生産性の改善	生産管理・物流の改善
10日目 11/25	現場改善の進め方	擬似実習体験の進め方
● 擬似実習		
11日目 12/2	擬似実習体験①	擬似実習体験②
12日目 12/9	擬似実習体験③	擬似実習体験④
13日目 12/16	擬似実習体験⑤	擬似実習体験⑥
14日目 12/23	擬似実習体験⑦	擬似実習体験⑧(全体報告会)
● 改善報告会 (2021年)		
15日目 3/3	改善報告会①(6社)	改善報告会②(6社)

